



昭和60年1月号(第225号)

編集と発行

金木町企画室

金木町大字金木字朝日山323
電話 53 2111 (代表) 内線40

謹賀新年

初もうでに二千人

除夜の鐘が鳴り響く中、希望に満ちた新しい年が明けました。
新年おめでとございます。

五穀豊穣、商売繁盛、家内安全、身体堅固などこの一年の平穏を祈願する初もうでは、午前零時の時報と共に始まり参拝者のかしわ手を打つ音が次から次とこたましていました。

金木八幡宮では、午前一時過ぎまで賑いを見せ、参拝者が二千人を記録(金木警察署外勤係調)、試験の合格を祈る受験生も含め、絵馬や破魔矢を手にする人が目立ちました。丑年の今

年、二年続きの大雪となりましたが、まだ一月。積雪記録の更新は免れそうになりませんが、大雪の年は豊作と言われ悲観したものでなく、二年続きの豊作を祈らずにはいられません。



元旦午前0時の金木八幡宮

各界代表

新年の抱負を語り合う



新年の抱負を語り合う、宴に入りました。

「町民新年の集い」が一月四日中央公民館で厳かに開かれました。

昨年まで「元旦の集い」として一日に行われていたこの集りは、年始の多忙や里帰りなどを理由に今年から四日の御用始めを契機に実施され、約百人の各界代表者や町民が参加しました。

式は、「君が代」と「年の始め」の斉唱に続き古川町長が年頭の辞、原田一実県議ら七名の各界代表が新年の抱負を述べたあと、祝

この集いも一般町民からは、敷居が高いと印象づけられるのか参加者の九割が役職を持つ人で占められ、新年のあいさつや名刺を交換していました。

抱負を述べた各界代表は次のとおりです。

青森県議会議員 原田一実
金木町社協会長 花田一
金木町議会議長 野宮雄造
金木警察署長 小笠原精治郎
金木営林署長 鈴木三男
青森銀行金木支店長 今紀元
金木町商工会長 角田良逸

年頭のごあいさつ



金木町議会議長
野宮雄造

金木町長
古川竹夫



昭和六十年の年頭に当り、謹んでご挨拶を申し上げます。ここに希望にあふれたすがすがしい新年の朝を迎えの町民各位のご清福とご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

町長就任以来早くも二年二カ月を経過し、この間、私の信条とするところの「清潔公正」を一心に貫き行財政の計画的かつ合理的運用に努め町民の福祉向上と

昨年三月改選以来、早や一年を経過しようとしてお

りますが、その間議員一同は微力ながら、町政発展のため誠心誠意、懸命の努力を傾注して参ったつもりであります。

しかし、この中にある望みの金木中学校新築移転工事は、ようやく着工にこぎつけ工事も順調に進み建造物としての雄姿を現わし

明るく潤いのある町づくりを目指して奮起して来たつもりでございます。

に明るいお正月を迎えられ

さて昨年我が町の主要作目である水稲の作柄は生育期から収穫期にかけ好天に恵まれ、更には、台風が一度も上陸しなかったという

たことと拝察致します。さて昨を行なわれた我が町の主なる事業を列挙しますと老人福祉センター、新農構改事業のりんご冷蔵庫

て来たことは誠に喜ばしい限りであります。また町の基幹産業である農業の振興を図るため、ひ

観光の拠点VVS

さらに県立芦野公園の自然美豊かな景観は来町者に

好印象を与え、町としてもその保全に配慮しつつ、津軽北部の観光拠点として、

牛の一散で躍進

本年の干支(丑)は歩みがおそいという例えがありますが、牛の一散(時には一散に走り出すことがある)という例えもありますし、

新しい年こそ町民の皆さんに好景気をもたらしてくれる良い年でありまして念じまして新年のあいさつと致します。

これを契機に一万五千町民が一丸となって創意と工夫をこらした町づくりの出发点にしたいと思っております。

又、各種産業の発展と住民の福祉増進に寄与するといふ大いなる夢と希望をその実現を図るため昭和三十年に金木町、嘉瀬村、喜良市村の一町二ヶ村が合併して丁度三十年目を迎える

消防団出初式 250人の大行進



正月恒例の消防団出初式が三日午前八時から行われ放水演習や機械点検、分列行進などを披露しました。

放水演習後の分列行進は幼年消防クラブと嘉瀬婦人防火クラブを先頭に第一分団から第六分団までの総勢二百五十名に上る大行進で、古川町長観閲のもと規律を正し、火災ゼロの願いを新たにしていきました。

火の取り扱いが多いこの時期、火災原因のトップがストーブ火の不始末で、昨年一月〜十二月までの町内火災発生件数は、ボヤなどを含めて二十七件、三億八千三百八十九万円が焼失しています。

今年分列行進

第一百十回町議会

農業委員に吉崎正光氏

十二月十七日招集の第一百十回定例町議会は、議会議選出の農業委員伊丸岡勇氏の辞任に伴い新たに吉崎正光氏を選任。人権擁護委員に

坂本義音(再任)対馬要治(新任)の両氏を推薦しました。

また、総務企画と教育民生常任委員会委員の所属

変更があり総務企画常任委員長に竹内武六氏、副委員長に小田桐喜吉氏。教育民生常任委員に古川哲雄氏を選任しました。

一般会計予算は、三千七十七万八千円を減額補正し、三十億五千六百八十九千円となりました。

犬のお母さんと二匹の子猫

昔から犬と猫は仇同志として知られていますが、喜良市の今憲雄さん(53歳)宅では、猫の赤ちゃんを犬の母親が世話をしている、ちよっと変わった親子が近所の話題を呼んでいます。

この親子は、生後まもない三毛猫(文次と勇太)と六才の雌犬(姫)で、今さんの話では、文次と勇太が出生後まもなく病気の母親と死に別れ、牛乳などをや



つて十日位育てていましたが、そのうち姫に預けたらどうかと思いつき、これを試みたところ最初はためらった姫もそのうち自分の乳首を含ませ文次と勇太に吸わせていたという。

三年前に母親体験のある姫は、上手に保育し、その

うち今さんがもしやと思いが、姫のお乳を絞ってみてもびっくり、お乳が出ていて飼い主を二度も驚かせました。

子を思う親の気持ちは、動物の本能なのか知りませんが、今さんも変わった親子に感激の面持ちでした。

大橋浩さん

玉鹿石を寄贈

青森県天然記念物に指定されている玉鹿石を喜良市の大橋浩さんが町に寄贈しました。

贈られた玉鹿石は、鹿の子石の異名を持つ錦石の一種で、きれいに研磨され美しい鹿の子紋様や緑玉等の色彩を醸し出しています。



ガソリンスタンドの日曜営業案内

- ▽2月3日(第一日曜日) 飯塚商店 52-5555
- ▽2月10日(第二日曜日) 三上石油 52-2390
- ▽2月17日(第三日曜日) 吉万石油 53-2534
- ▽2月24日(第四日曜日) 伊藤商店 53-2825



第3保育所



第1保育所



蒔田児童館



第4保育所



第2保育所

おゆうぎ会

- 古川 一樹 (真一) 喜良市
 白川 綾乃 (昭雄) 金木
 今 誠治 (清治) 喜良市
 石井 あゆみ (正誉) 金木
 木村 陽仁 (悦男) 金木
 鳴海 洋亮 (公德) 嘉瀬
 内海 和樹 (勝博) 嘉瀬
 三濁 俊樹 (弘樹) 川倉
 山中 大資 (明彦) 嘉瀬
 工藤 あゆみ (一男) 藤枝
 藤田 琴幸 (智紀) 金木

おめでとう

十二月

戸籍の窓

- (山田 秀造 (国光) 金木
 岩森 利子 (金作) 岩崎村
 葛西 良昭 (幹雄) 喜良市
 鶴賀 彩子 (昭次) 森田村
 徐 テツ (李連栄) 中国
 田中 テツ (清吉) 金木
 加藤 光義 (光則) 川倉
 鈴木 洋子 (初太郎) 川倉
 島谷 貴史 (克治) 五所市
 中村 隆奥子 (政徳) 嘉瀬
 田中 星二郎 (孝良) 福井県
 中谷 くめこ (秀八) 川倉

おしあわせに

- 小笠原 隆善 (正仁) 金木
 浜田 亜希 (毅彦) 嘉瀬

- (秋元 建一 (年一) 神原
 佐々木 眞由美 (良一) 中里町
 津島 英美 (辰雄) 金木
 佐野 ヒロ子 (定一) 中里町
 竹内 眞紀子 (健造) 中里町
 黒沼 眞紀子 (留吉) 金木
 石岡 啓三 (昭三) 嘉瀬
 英子 (恒雄) 五所市
 中村 実 (俊昭) 中里町
 原田 由美子 (稔) 嘉瀬

おくやみ

- 濱田 ハル (80) 嘉瀬
 福井 健三郎 (74) 喜良市
 成田 留吉 (77) 中柏木
 原田 キエ (69) 中柏木

人口と世帯

12月31日現在	前月比
世帯数 3,903世帯	+2
人口 14,310人	-4
男 6,885人	-1
女 7,425人	-3



川倉児童館

金木老人福祉センターが完成

老人クラブ活動の基幹となる待望の金木老人福祉センターがこのほど完成し、関係者を喜ばせました。同センターは、従来の老人憩の家跡地に昨年七月着工されたもので総工費が二千二百二十五万円、広い集会室や娛樂室などが配置され、嘉瀬、喜良市に設立された同種の福祉センターと共に老人の集会施設として多目的に利用されます。また、この施設の完成に



はじめまして
 琴幸ちゃん

11月29日生まれ
 体重 3,500g
 金木 藤田智紀 長女

